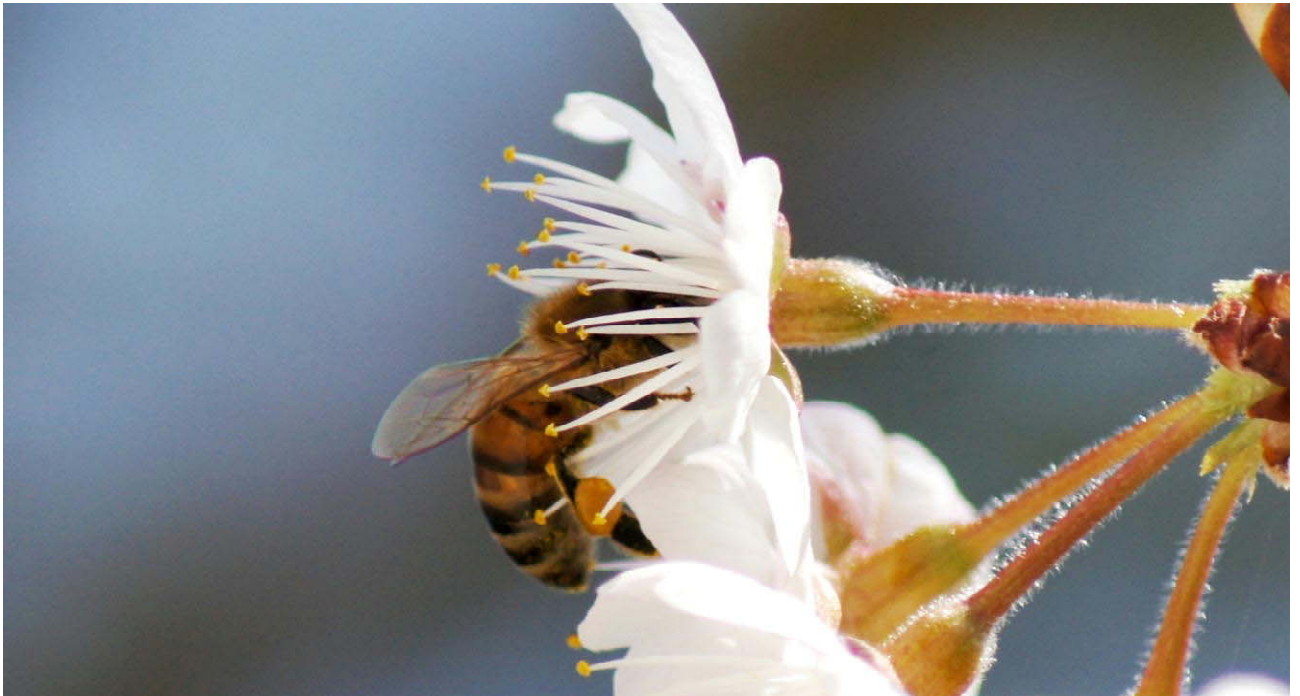


# 牛久：学校周辺に見る自然

第6号 宮内家（稲敷市）

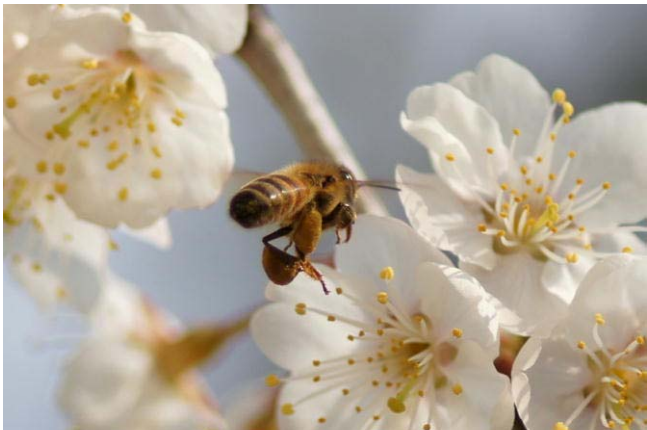
2012年5月10日発行

＜ サクランボの花に来たミツバチ ～宮内家の庭から ＞



前号の続きで、我が家のサクランボに来たセイヨウミツバチの紹介です。

ミツバチの仲間は、後ろ足の「花粉かご」とよばれる部分に花粉を集めて、巣にもちかえります。ずいぶん大きくなったものも見かけますが、それでも飛べるとは、たいしたものです。



ところで、こんなにたくさん花粉をとられて、サクランボは困らないのでしょうか？ と、心配にもなりますが、一つの花の、雄しべの数を見てください。ずいぶん、たくさんあります。それに対して、雌しべは1本しかないですね？（だから、1本の柄に実は一つしかつかない。）

たくさんの花粉をとられても、体についた花粉の一部でも、確実に他のサクランボの花へ届けてもらった方が、よい果実、よい種子ができるので、サクランボにと

ってはありがたいのです。

【理科支援員：宮内】

← あしについた花粉が、雌しべの先(柱頭:ちゅうとう)についているのが分かる。

